



チームエッフェガー  
宇都木実

レースレポート

2011年8月21

# TOYOTA SL-KART MEETING FESTIKA Rd.

YAMAHA スーパーSS (参加6台)

Festika Circuit

フレーム : birel RY30-S3

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : プリヂストン SL07

エンジニア : 加藤 真 (レーシングサービスエッフェガー)

メカニック : 立木 保 (チームエッフェガー)

◆レース結果

T.T 1位 (38.824)

予選 1位 (37.153)

プレファイナル 1位 (33.128)

決勝 1位 (38.827)

◆2011年度

シリーズランキング

1位 (50ポイント)

(Rd.3 終了時点)

## 今大会に向けて

今年の夏も異常な暑さに悩まされる・・・体力トレーニングを兼ねモチゲをトニーで走り、改めてビレルとの違いを確認する。恒例のレース前の一馬との練習である程度の感触をつかみレースウイークに・・・

## レースレポート (前日)

レース当日は雨の予報であるが前日はドライコンディション。2、3日天気が悪く路面状態はいまひとつ。そんな中最高の仕上がりをを見せていたのは迫選手。午前中は水を開けられた形となるがゴムが乗って来るとタイムもアップし追いつく形となったが、雨上がりのドライ路面では厳しい戦いになると予想されるので、対策を考慮する。当日は初のビレルでの雨レースとなるが、フェスでの雨セットは出せる確信があるので、あえてビレルで臨む。

## 公式練習

前日の夜から雨。路面はフルウェット状態ではあるがドライになる事も予想されるので昨年1ヒート使用のレインタイヤを使う。保管状態は良好なので一皮剥けば行けると判断するが、エアは高めで臨む。今回絶好調の迫選手に続き2番手タイムで公式練習を終える。今回台数は少ないものの誰が勝ってもおかしくないメンバーなので気合を入れ直す。

## タイムトライアル

路面は変わらずフルウェット状態。公式からセットを変更しアタックに突入・・・今回好調の迫選手との一騎打ちの様相を呈する。周回ごとにトップが入れ替わる大激戦のT.Tを2/100秒差で制しP.Pをゲット!!

今回は気になる先輩はタイヤがいまいちの様でポイントをリードするチャンスと改めて冷静なレースを心がける。

## 予選ヒート

雨も止みラインが微妙に乾きかけて来たのでセットを微調整しコースイン。スタートも決まりまずまずの周回を重ねる。ラインも乾き始め後ろには迫選手が迫る、タイヤを壊さない様になるべく濡れたラインを選び走行。結果的には微妙なブロックラインとなりそのままゴール。

## プレファイナル

雨上がりドライ路面。1周目からトラクション不足に苦労しながらも後続をどうにか抑える展開。迫選手に貼付かれるがトラブルを抱え無理して来ない・・・我慢の走りで決勝P.Pを獲得。このままドライだとかなり苦戦が予想される。

## 決勝ヒート

前のクラスのスタートから雨が降り出しSSは泥沼レース状態。急遽雨セットに変更。タモさんのおかげで完璧な雨セット完了・・・スタートもうまく決まり前半は逃げに徹しアドバンテージを築くが中盤から集中力も落ち、タイヤもきつくなって来てペースも落ち始める。後半は気持ちを入れ直しプッシュ・・・どうにか逃げ切り、開幕3連勝をゲット!

## レースを終えて

今回は監督不在でしたが、足立さん、郡司さん、ハマコー、ださまさしさんと多くの人に応援に来て頂きチーム体制の有難みを感じました。今回は難しいレースになると予想されたので、3連勝は取って意識せず力を出し切れれば結果は付いてくると信じ臨みました。ウェット、ドライ、ウェットと大変なレースでしたが、前日から専属メカをしてくれたタモさんのおかげでレースに集中する事が出来ました。決勝前の短時間でのセット変更を手伝ってくれた郡司さん、まさしさん有難うございました。自己2回目の3連勝が出来ました。

